

平成 30 年 2 月 14 日

平成 30 年 1 月期観測資料

1 観測結果概要

平成 30 年 1 月期(以下「今期」という。)のセンサーに対するアクセス件数は、一日・1IP アドレス当たり 1,842.6 件で、平成 29 年 12 月期(以下「前期」という。)と比較して 124.2 件(6.3%)減少しました。また、発信元 IP アドレス数は、一日当たり 51,067.3 個で、前期と比較して 11,508.4 個(18.4%)減少しました。

シグネチャを用いて検知した不正侵入等の行為(以下「不正侵入等」という。)の件数は、一日・1IP アドレス当たり 970.4 件で、前期と比較して 107.6 件(12.5%)増加しました。また、発信元 IP アドレス数は、一日当たり 1,207.8 個で、前期と比較して 41.9 個(3.6%)増加しました。

DoS 攻撃被害観測において検知した件数は、一日当たり 6,465.0 件で、前期と比較して 45,242.6 件(87.5%)減少しました。また、発信元 IP アドレス数は、一日当たり 394.3 個で、前期と比較して 112.3 個(39.8%)増加しました。

2 インターネット定点観測 — センサーに対するアクセス

2-1 宛先ポート別

表 2-1 宛先ポート別検知件数(今期順位)

今期 順位	前期 順位	ポート	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ
1位	1位	23/TCP	452.58 件	-12.9% (-67.22 件)
2位	2位	445/TCP	170.46 件	+9.7% (+15.01 件)
3位	3位	22/TCP	115.34 件	-2.4% (-2.78 件)
4位	4位	1433/TCP	92.20 件	-17.7% (-19.81 件)
5位	5位	2323/TCP	45.38 件	-59.5% (-66.53 件)

表 2-2 宛先ポート別検知件数(増加順位)

増加 順位	ポート	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	445/TCP	170.46 件	+9.7% (+15.01 件)	2位	2位
2位	139/TCP	15.87 件	+756.6% (+14.02 件)	14位	59位
3位	80/TCP	29.95 件	+38.3% (+8.29 件)	8位	11位
4位	3306/TCP	19.00 件	+62.4% (+7.30 件)	13位	18位
5位	8080/TCP	19.23 件	+24.9% (+3.84 件)	12位	13位

表 2-3 宛先ポート別検知件数(減少順位)

減少 順位	ポート	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	23/TCP	452.58 件	-12.9% (-67.22 件)	1位	1位
2位	2323/TCP	45.38 件	-59.5% (-66.53 件)	5位	5位
3位	1433/TCP	92.20 件	-17.7% (-19.81 件)	4位	4位
4位	53413/UDP	44.16 件	-24.2% (-14.14 件)	6位	6位
5位	37215/TCP	5.16 件	-66.9% (-10.41 件)	25位	12位

ⁱ 一日・1IPアドレス当たり。

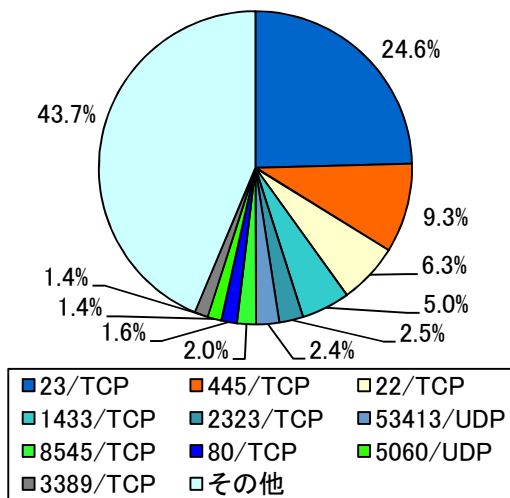


図 2-1 宛先ポート別比率(全て) ⁱ

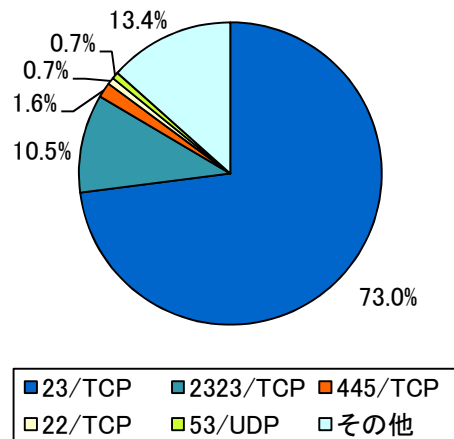


図 2-2 宛先ポート別比率(日本) ⁱⁱ

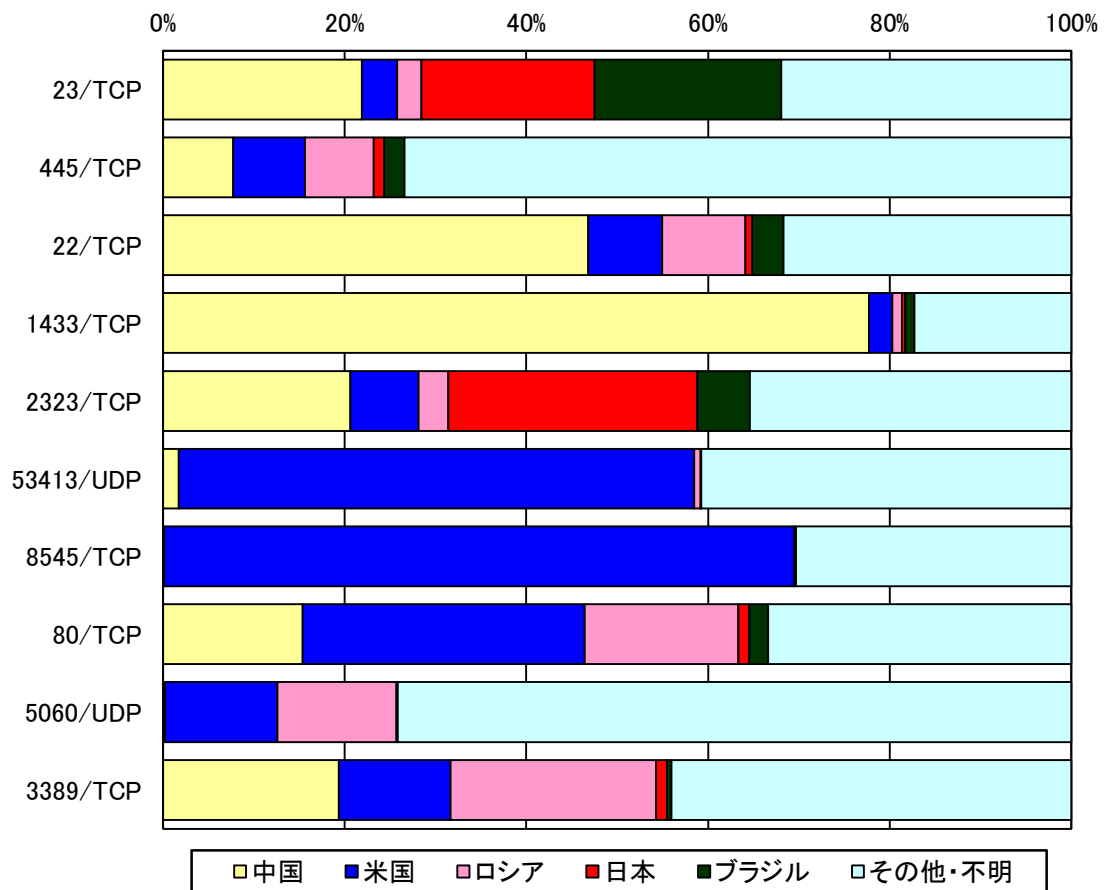


図 2-3 宛先ポート別上位の発信元国・地域別比率 ⁱⁱⁱ

ⁱ 当データは、小数第二位で四捨五入しているため、合計が 100% になりません。

ⁱⁱ 発信元国・地域が日本国内からのアクセスのみ集計しました。

ⁱⁱⁱ 発信元の国・地域については、当該国・地域に割り当てられた IP アドレスを指しています。以降も同様の表記です。

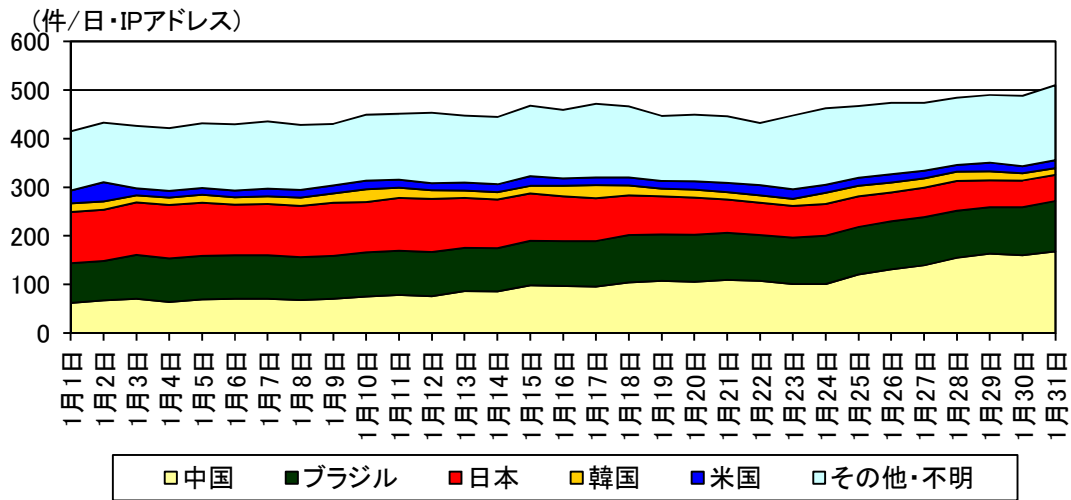


図 2-4 宛先ポート 23/TCP に対するアクセス件数の推移

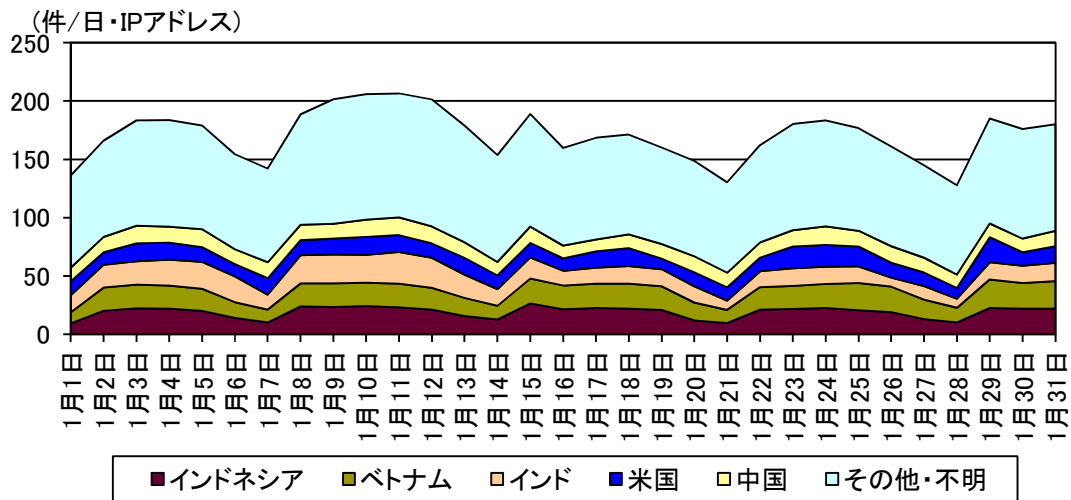


図 2-5 宛先ポート 445/TCP に対するアクセス件数の推移

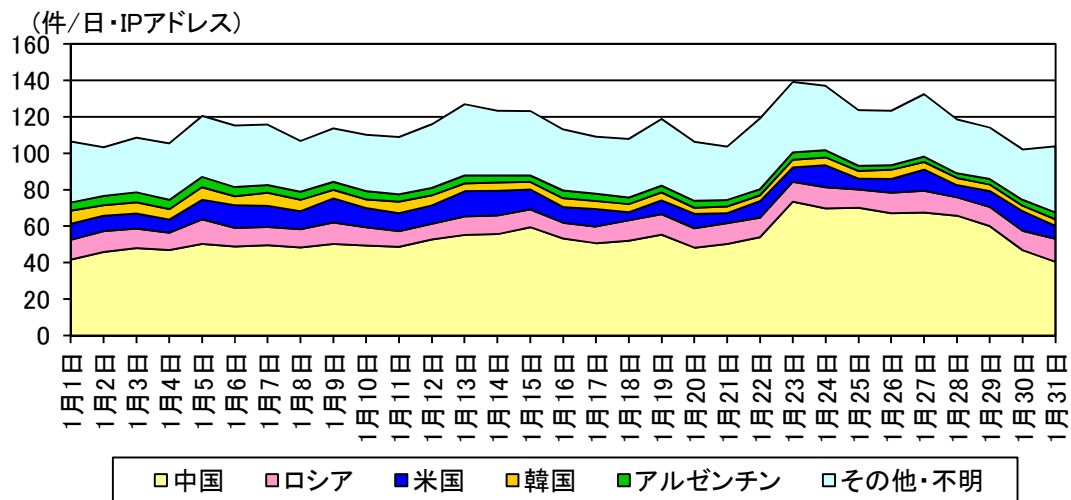


図 2-6 宛先ポート 22/TCP に対するアクセス件数の推移

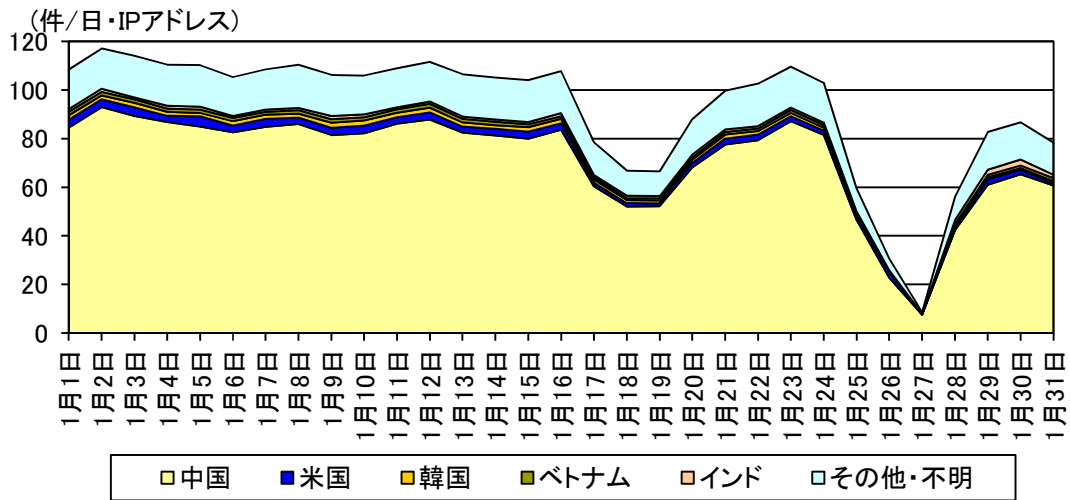


図 2-7 宛先ポート 1433/TCP に対するアクセス件数の推移

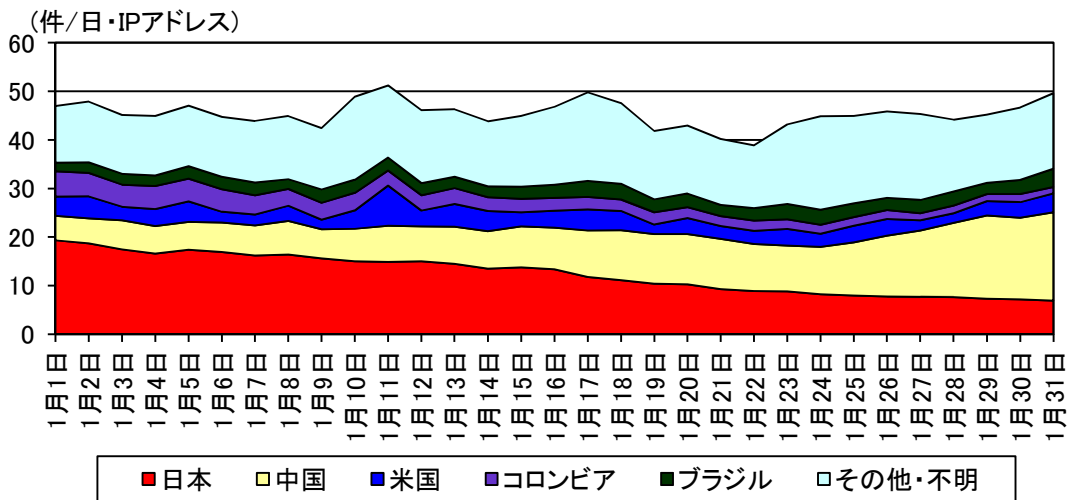


図 2-8 宛先ポート 2323/TCP に対するアクセス件数の推移

2-2 発信元国・地域別

表 2-4 発信元国・地域別検知件数(今期順位)

今期 順位	前期 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ
1位	1位	中国	374.63件	+13.1% (+43.44件)
2位	2位	米国	284.10件	-6.7% (-20.35件)
3位	3位	ロシア	270.36件	+34.5% (+69.33件)
4位	4位	日本	118.32件	-23.2% (-35.72件)
5位	6位	ブラジル	109.42件	+15.1% (+14.32件)

表 2-5 発信元国・地域別検知件数(増加順位)

増加 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	ロシア	270.36件	+34.5% (+69.33件)	3位	3位
2位	中国	374.63件	+13.1% (+43.44件)	1位	1位
3位	ブラジル	109.42件	+15.1% (+14.32件)	5位	6位
4位	南アフリカ	20.29件	+115.4% (+10.87件)	16位	26位
5位	フランス	38.01件	+18.5% (+5.93件)	9位	15位

表 2-6 発信元国・地域別検知件数(減少順位)

減少 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	コロンビア	11.53件	-85.8% (-69.75件)	22位	7位
2位	エジプト	2.63件	-93.3% (-36.33件)	41位	11位
3位	日本	118.32件	-23.2% (-35.72件)	4位	4位
4位	チリ	79.39件	-25.2% (-26.70件)	6位	5位
5位	オランダ	56.91件	-27.6% (-21.68件)	7位	8位

ⁱ 一日・1IPアドレス当たり。

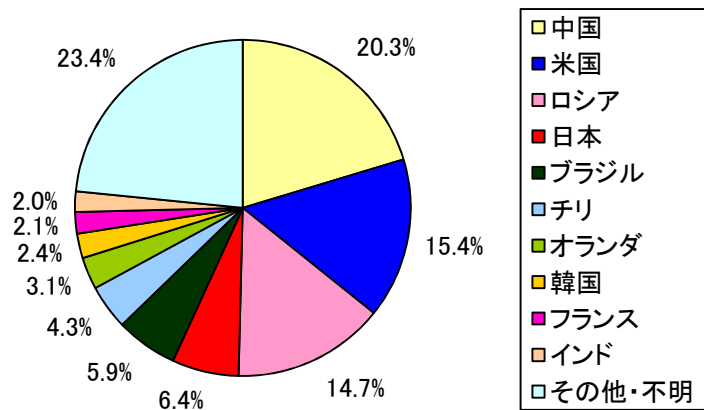


図 2-9 発信元国・地域別比率

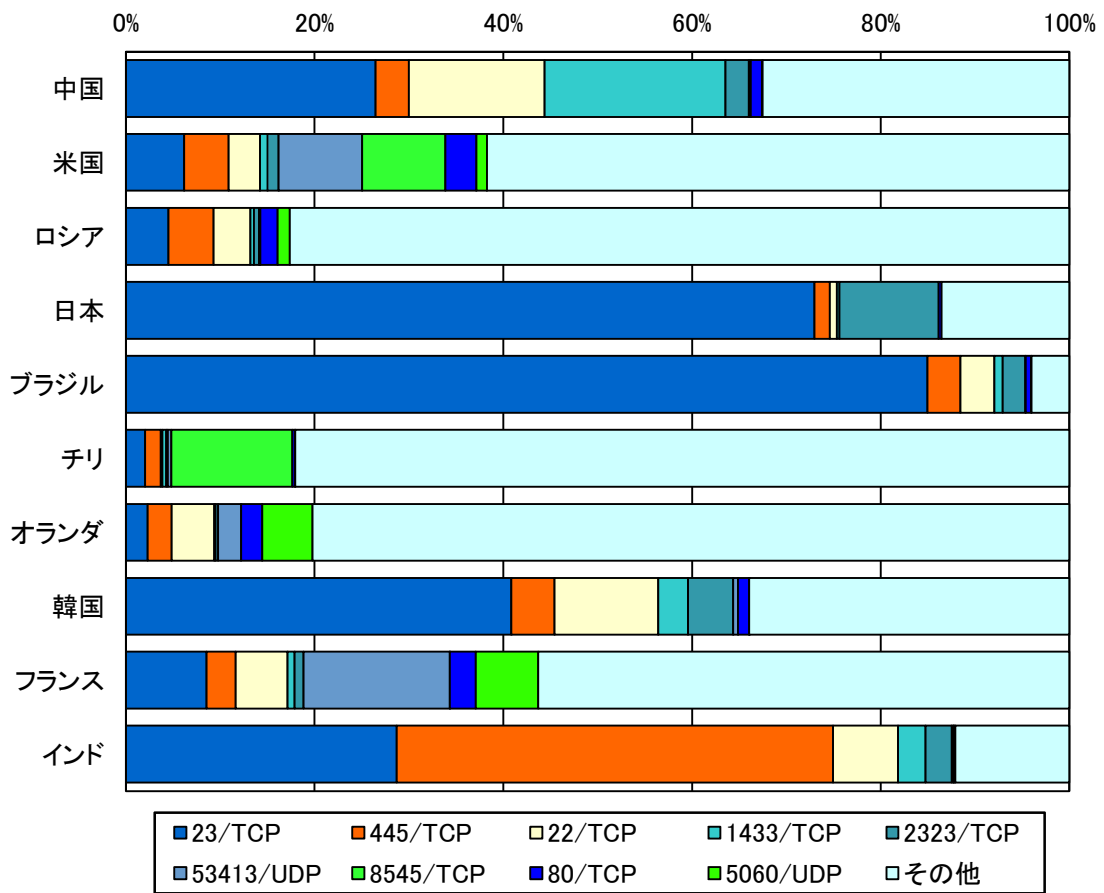


図 2-10 発信元国・地域別上位の宛先ポート別比率

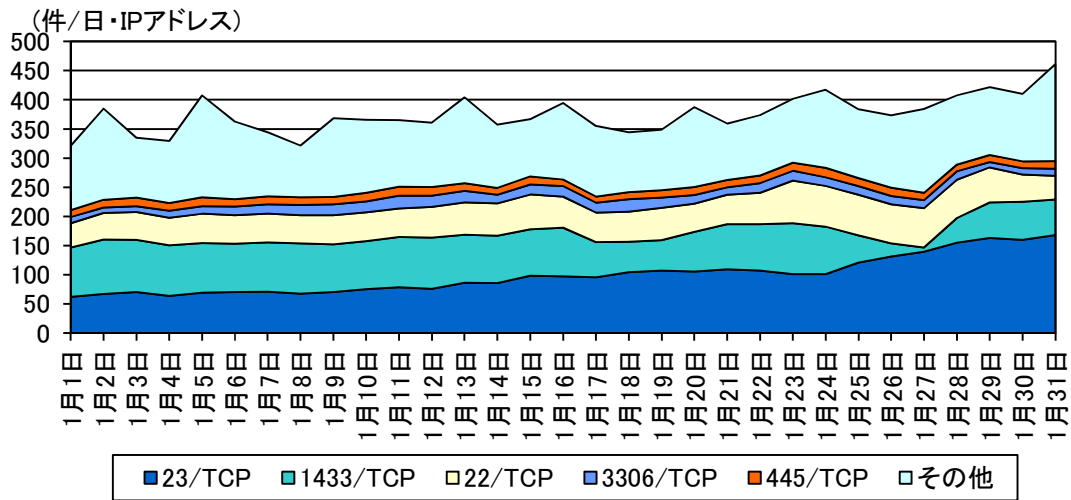


図 2-11 中国からのアクセス件数の推移

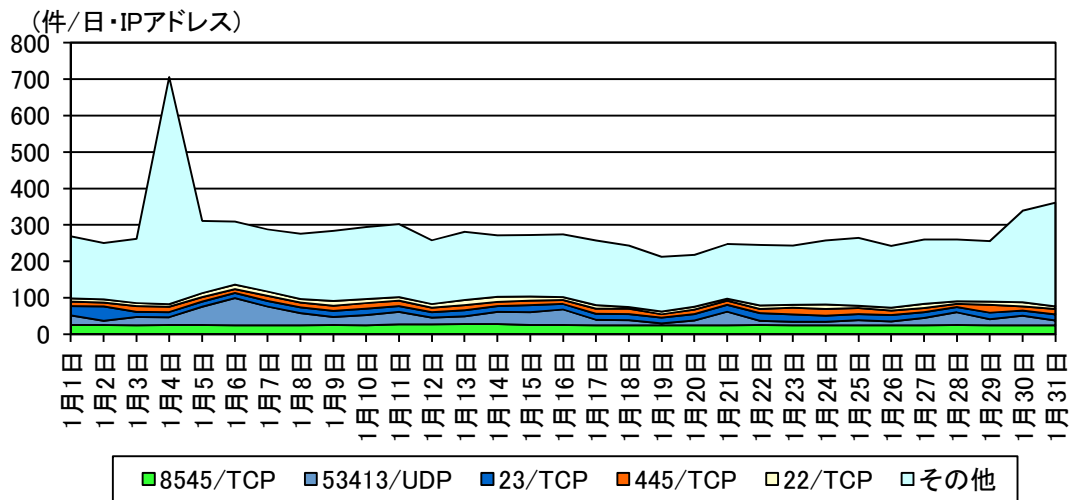


図 2-12 米国からのアクセス件数の推移

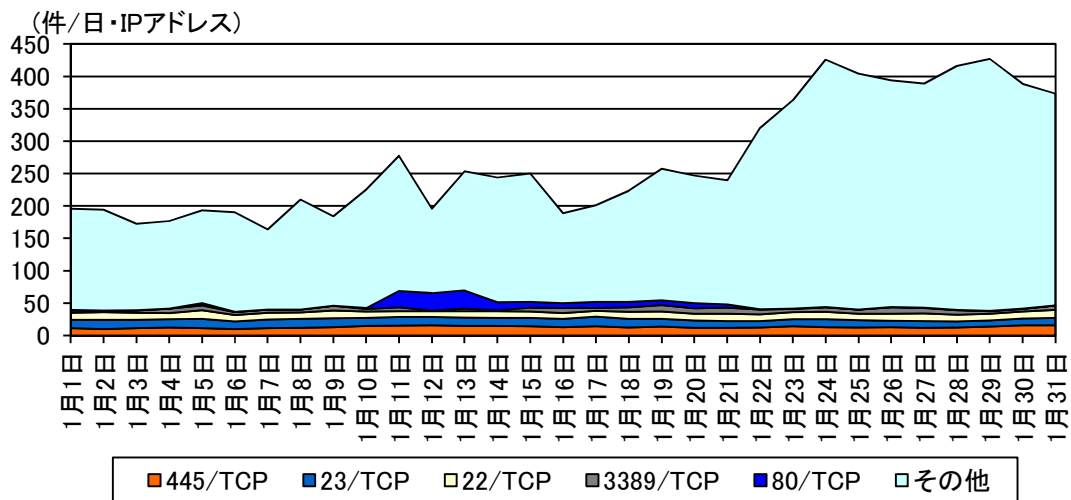


図 2-13 ロシアからのアクセス件数の推移

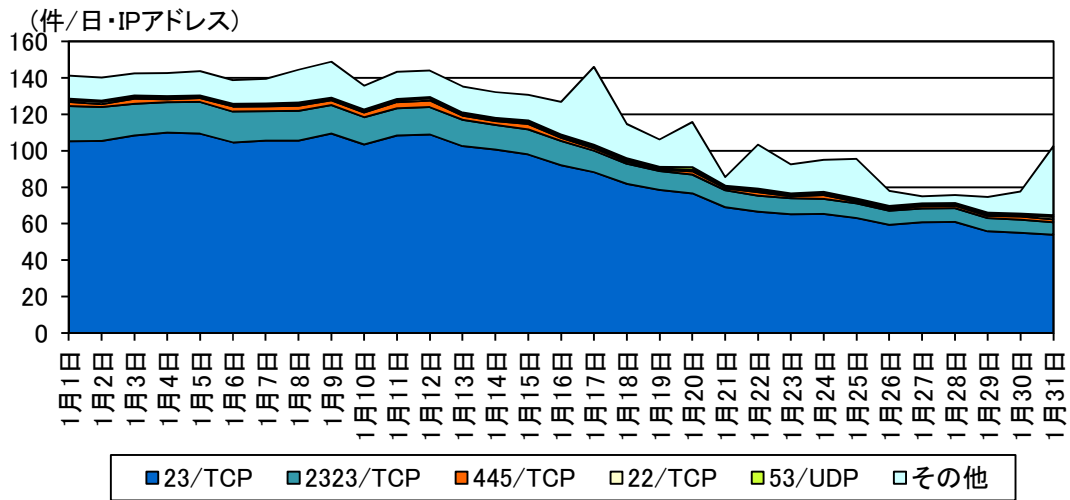


図 2-14 日本からのアクセス件数の推移

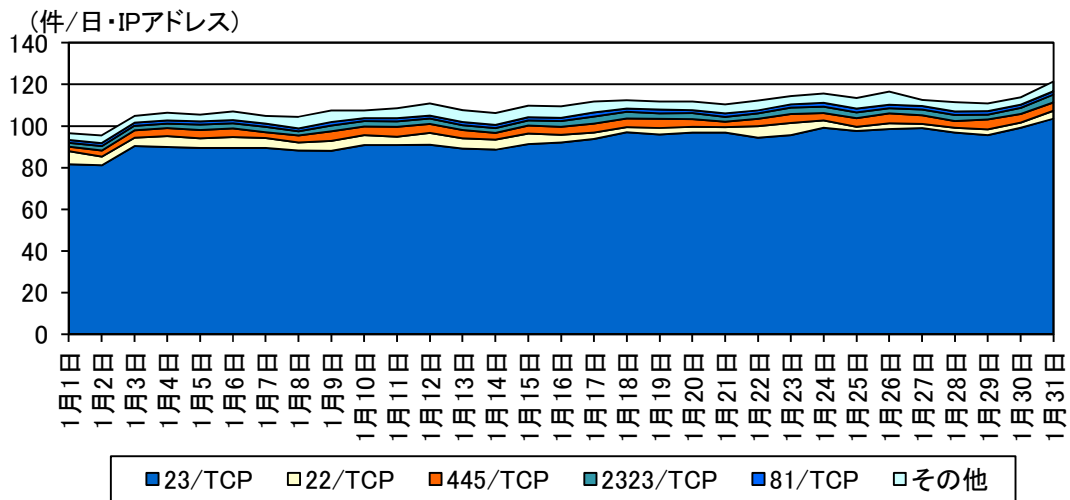


図 2-15 ブラジルからのアクセス件数の推移

3 インターネット定点観測 — 不正侵入等の検知

3-1 攻撃手法別

表 3-1 不正侵入等の攻撃手法別検知件数(今期順位)

今期順位	前期順位	攻撃手法	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	増加順位	減少順位
1位	1位	Scan	857.37件	+15.7% (+116.19件)	1位	
2位	2位	VoIP	64.12件	-12.3% (-8.97件)		1位
3位	3位	Scan(Password)	18.10件	-0.2% (-0.03件)		4位
4位	4位	DNS	14.28件	+20.8% (+2.46件)	2位	
5位	5位	ICMP	11.68件	+7.1% (+0.77件)	3位	

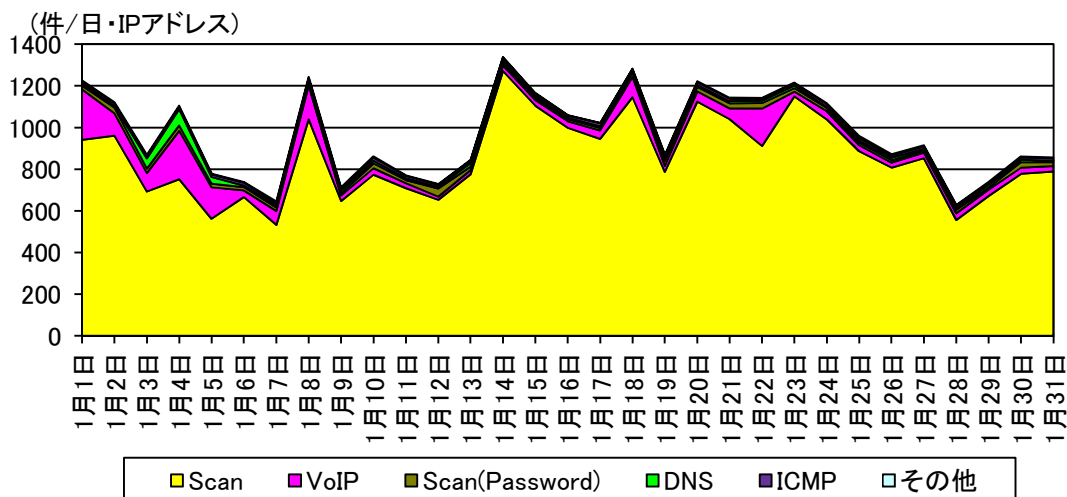


図 3-1 不正侵入等の攻撃手法別検知件数の推移

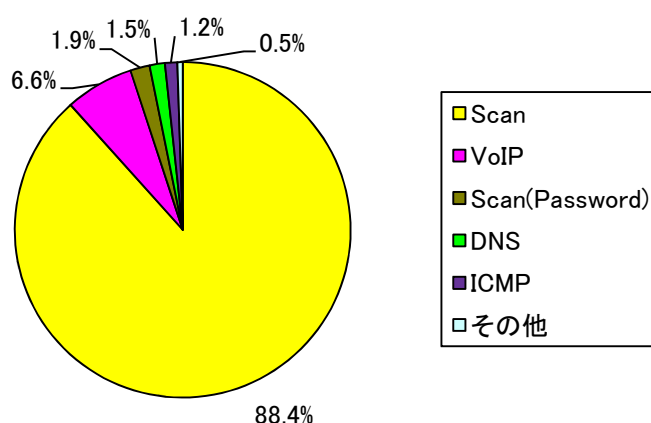


図 3-2 不正侵入等の攻撃手法別検知比率ⁱⁱ

ⁱ 一日・1IPアドレス当たり。

ⁱⁱ 当データは、小数第二位で四捨五入しているため、合計が100%になりません。

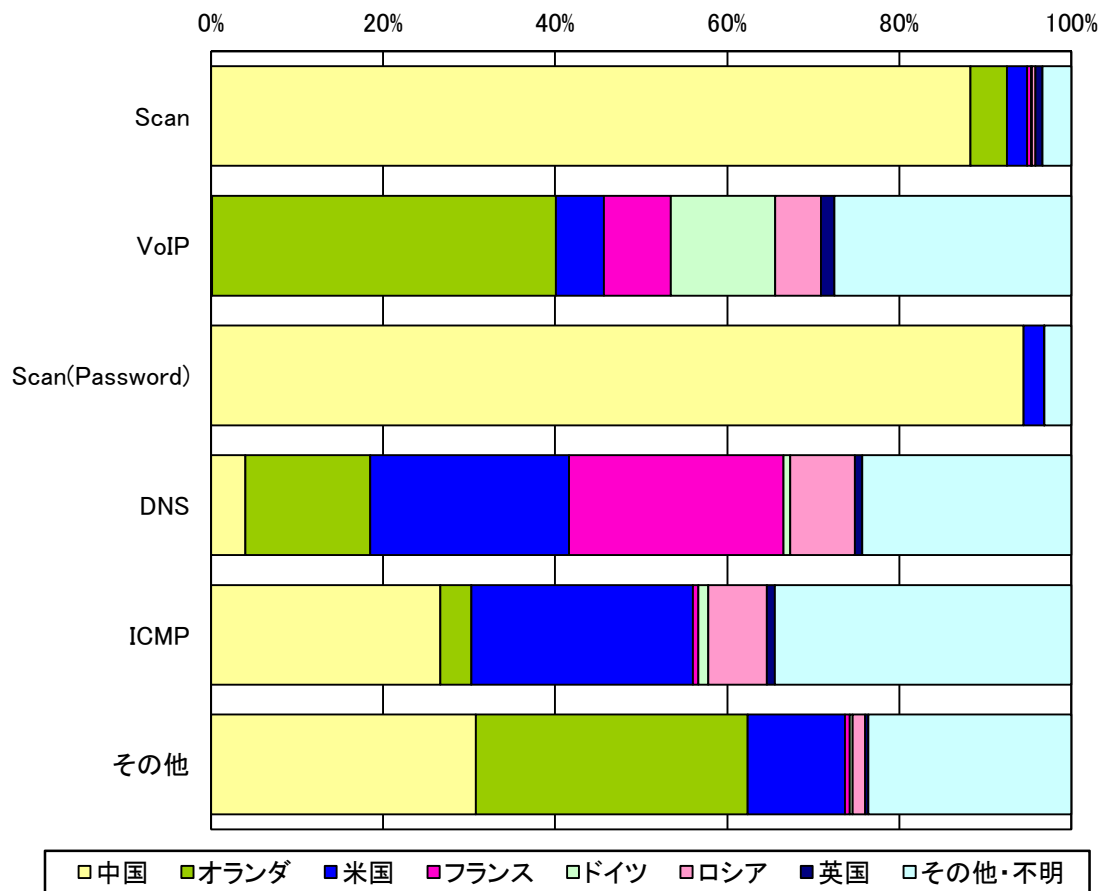


図 3-3 不正侵入等の攻撃手法の国・地域別検知比率

3-2 発信元国・地域別

表 3-2 不正侵入等の発信元国・地域別検知件数(今期順位)

今期 順位	前期 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ
1位	1位	中国	779.31 件	+15.4% (+103.81 件)
2位	2位	オランダ	65.96 件	-1.5% (-0.99 件)
3位	3位	米国	31.00 件	-18.6% (-7.10 件)
4位	5位	フランス	12.42 件	+20.1% (+2.08 件)
5位	7位	ドイツ	9.07 件	+32.0% (+2.20 件)

表 3-3 不正侵入等の発信元国・地域別検知件数(増加順位)

増加 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	中国	779.31 件	+15.4% (+103.81 件)	1位	1位
2位	リトアニア	8.31 件	+441.6% (+6.77 件)	8位	15位
3位	ウクライナ	4.54 件	+217.0% (+3.11 件)	10位	19位
4位	ドイツ	9.07 件	+32.0% (+2.20 件)	5位	7位
5位	フランス	12.42 件	+20.1% (+2.08 件)	4位	5位

表 3-4 不正侵入等の発信元国・地域別検知件数(減少順位)

減少 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	米国	31.00 件	-18.6% (-7.10 件)	3位	3位
2位	英国	8.43 件	-33.0% (-4.15 件)	7位	4位
3位	スイス	2.75 件	-55.2% (-3.38 件)	16位	8位
4位	シンガポール	0.21 件	-82.8% (-1.01 件)	34位	20位
5位	オランダ	65.96 件	-1.5% (-0.99 件)	2位	2位

ⁱ 一日・1IPアドレス当たり。

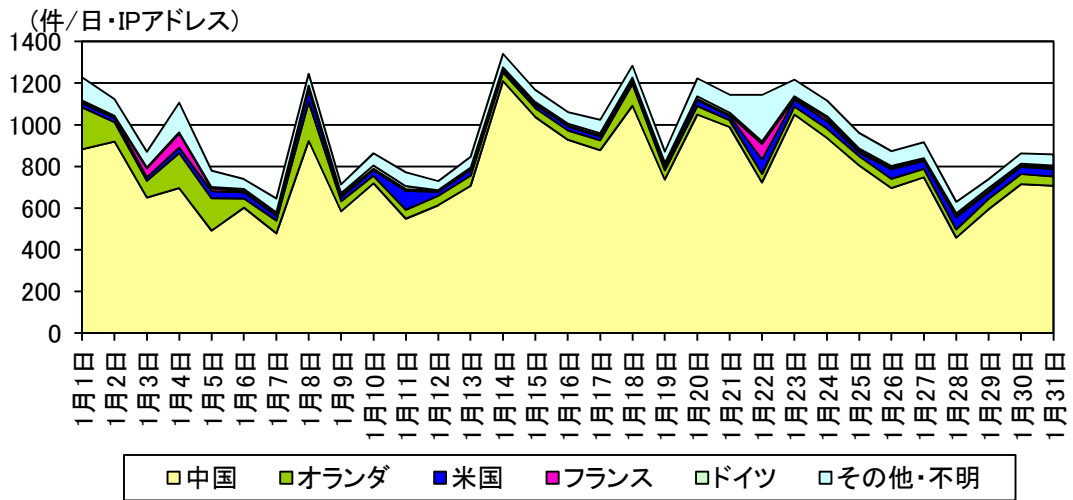


図 3-4 不正侵入等の発信元国・地域別検知件数の推移

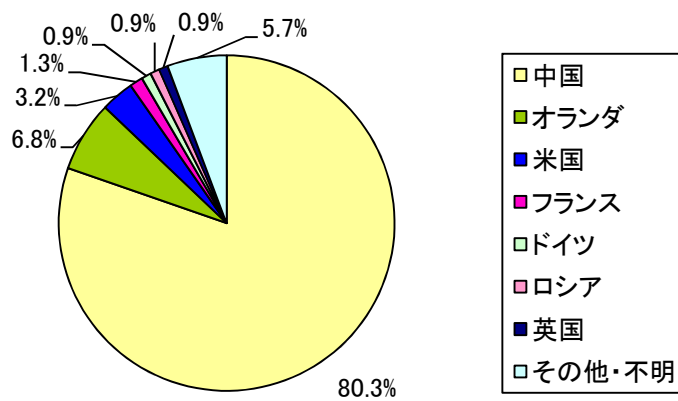


図 3-5 不正侵入等の発信元国・地域別検知比率

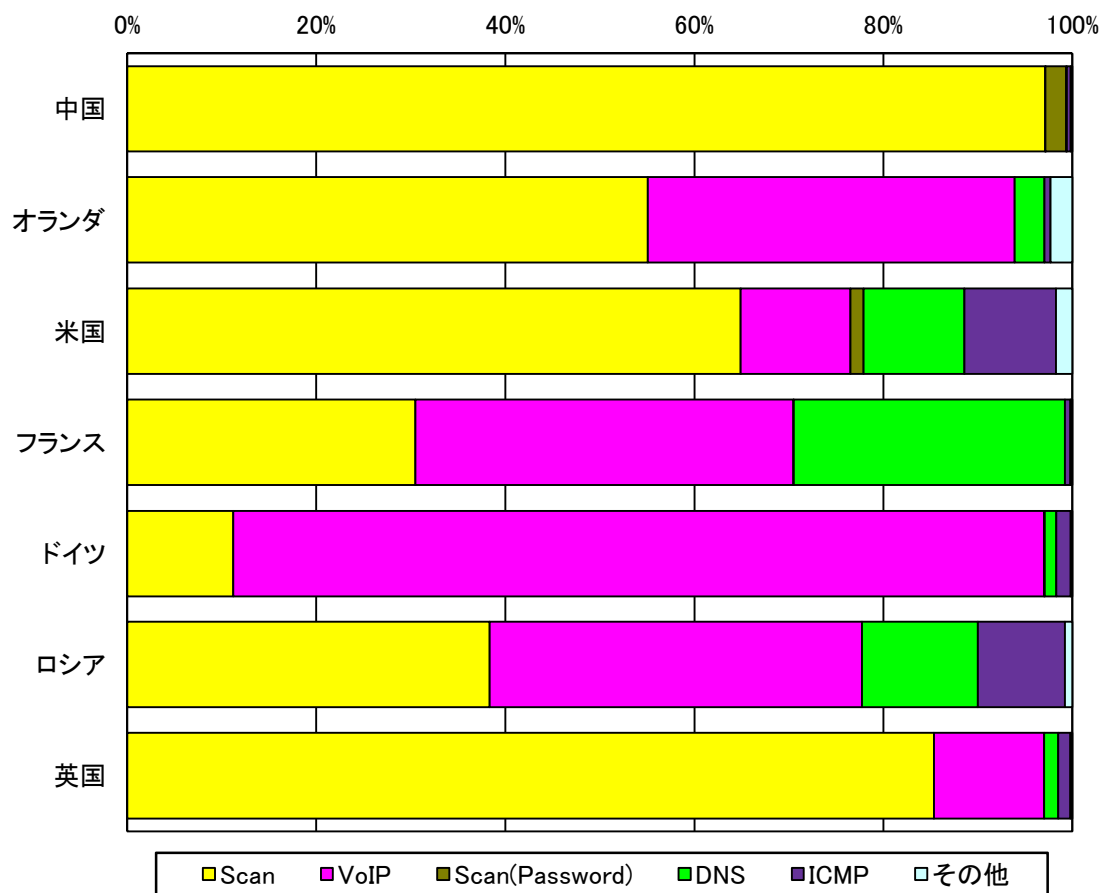


図 3-6 不正侵入等の発信元国・地域別上位の攻撃手法別検知比率

4 インターネット定点観測 — DoS 攻撃被害観測状況

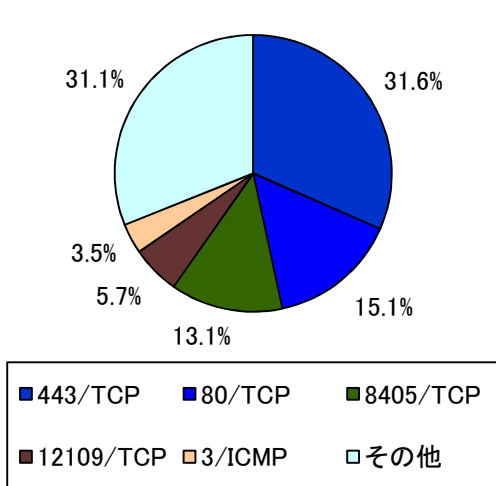


図 4-1 跳ね返りパケット発信元ポート別比率ⁱ

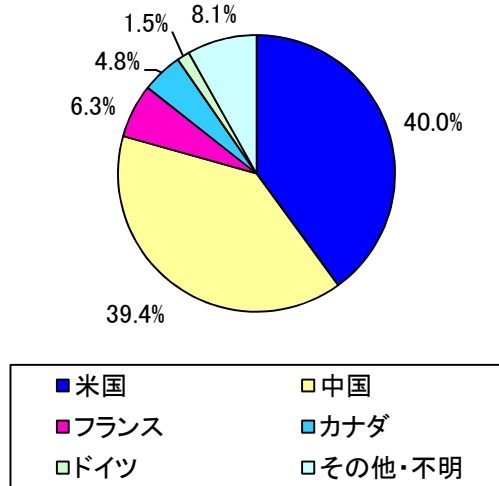


図 4-2 跳ね返りパケット発信元国・地域別比率ⁱ

ⁱ 当データは、小数第二位で四捨五入しているため、合計が 100% になりません。

5 集計方法

警察庁では、インターネット定点観測システムにより、全国のインターネット接続点におけるアクセス情報等を観測・分析しています。各観測結果の集計については、次のとおり行っています。

5-1 パケットの表記

TCP 及び UDP はポートごとに集計し、スラッシュの前にポート番号を付けて表しています(例「135/TCP」はTCPの135番ポートを表します。)。ICMPパケットについては、タイプごとに集計し、スラッシュの前にタイプ番号を付けて表しています(例「8/ICMP」はICMP Echo Requestを表します。)。

5-2 パケットの分類

インターネット定点観測システムが検知したパケットの分類は、表 5-1 に示す分類に従って集計しています。DoS 攻撃被害観測システムでは、SYN/ACK 及び RST/ACK パケットに加えて、ICMP Echo Reply(以下「0/ICMP」という。)、ICMP Destination Unreachable(以下「3/ICMP」という。)及び ICMP Time Exceeded(以下「11/ICMP」という。)を集計対象としています。

表 5-1 パケットの分類

章	集計対象	
2 インターネット定点観測 － センサーに対するアクセス	センサーに対するアクセス	● TCP SYN パケット ● UDP による問い合わせパケット等 ● 8/ICMP
	目的が不明なパケット	● その他
4 インターネット定点観測 － DoS 攻撃被害観測状況	SYN flood 攻撃による跳ね返りパケット	● TCP SYN/ACK ● TCP RST/ACK
	PING flood 攻撃による跳ね返りパケット	● 0/ICMP
	各種の flood 攻撃による跳ね返りパケット	● 3/ICMP ● 11/ICMP

5-3 不正侵入等の検知

検知された各シグネチャは、表 5-2 に示す分類に従って集計しています。

また、各センサーには、サーバ等の攻撃対象となる可能性のある機器を一切接続していません。

表 5-2 シグネチャによる検知の分類

分類	説明
DNS	DNS に対するスキャン活動や不正なクエリ等の検知
DoS	DoS 攻撃の可能性のあるパケットの検知
ICMP	ICMP パケットの検知
Scan	インターネット上の各種サービスに対するスキャン活動の検知
Scan (P2P)	スキャン活動のうち、P2P に対する活動の検知
Scan (Password)	スキャン活動のうち、各種サービスの ID・パスワード等に対する活動の検知
UDP spam	UDP を使用したポップアップメッセージ等の検知
VoIP	VoIP に対するスキャン活動等の検知
Worm	インターネットを通じて拡散するワームの検知
Others	上記の分類に含まれないもの